

平素より不二サッシグループに格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

2025年3月期の業績および2026年3月期の業績予想ならびに株主総会決議事項等について、お知らせいたします。

■ 2025年3月期の経営成績

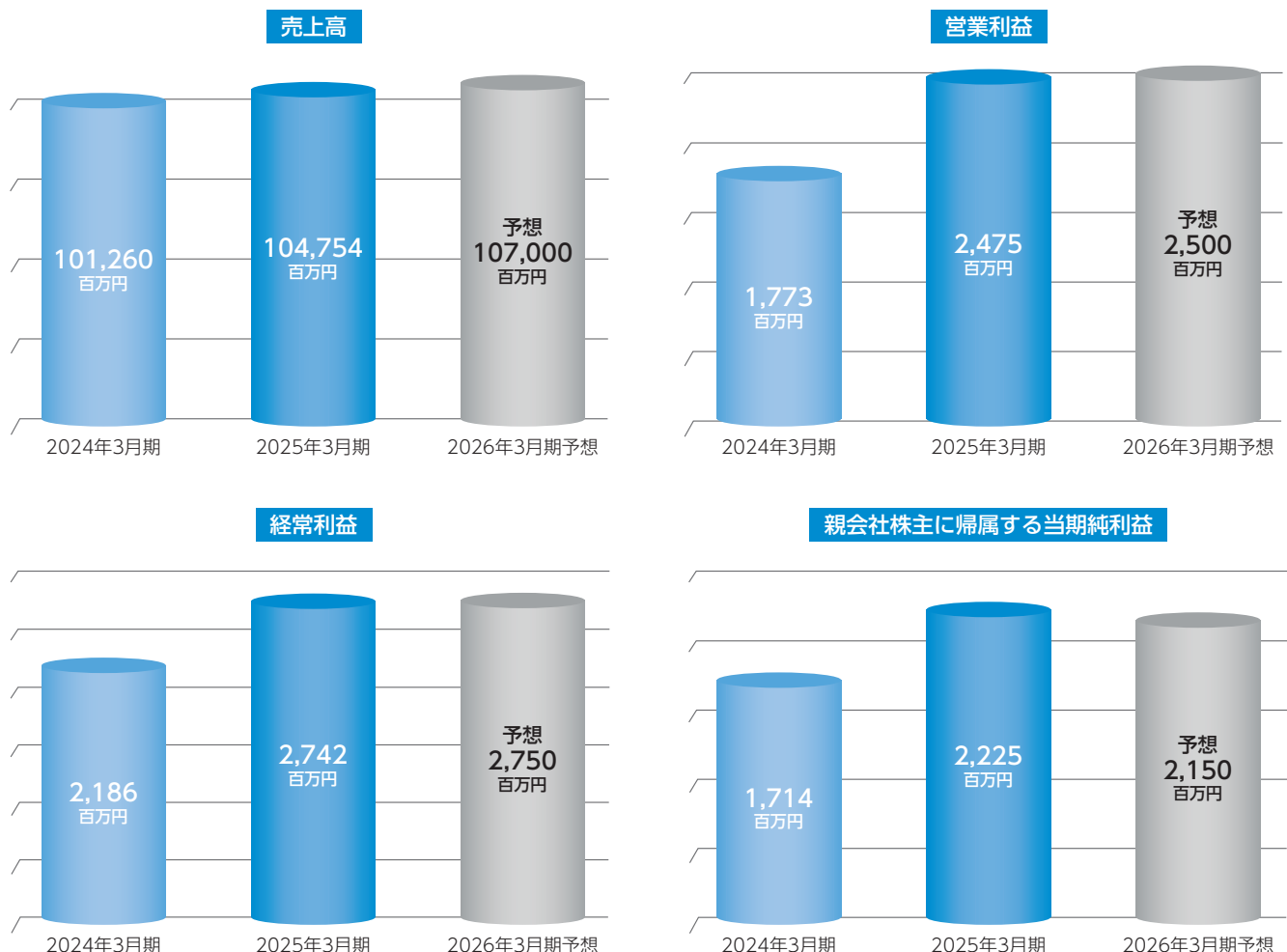
当連結会計年度の当社グループ（当社および連結子会社）の業績は、主力とするビルサッシを中心とした建材事業分野においては、ビル新築事業およびリニューアル事業が好調に推移いたしました。建設資材の高騰、労働人口の減少などの厳しい事業環境の改善は見通せない状況が続いております。型材外販事業分野においては、加工品を中心に安定した収益基盤の構築に向けて歩みを進めております。このような事業環境の下、全セグメントにおいて前年対比で増収増益を達成いたしました。この結果、売上高1,047億5千4百万円（前年同期は1,012億6千万円）、営業利益24億7千5百万円（前年同期は営業利益17億7千3百万円）、経常利益27億4千2百万円（前年同期は経常利益21億8千6百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益22億2千5百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益17億1千4百万円）となりました。

2025年度は、米国による輸入関税強化や、長期化するウクライナ情勢等、地政学的リスクが継続しており、世界経済の先行きには依然として不透明感が残る状況です。国内の建設市場におきましては、依然として続く諸資材価格の高騰とそれに伴う建築計画の見直し、労働人口の減少に伴う工期の延長など、厳しい事業環境が続くものと見込まれております。こうした外部環境の下、当社グループは、中期経営計画に基づく各種施策の着実な実行を通じて、売上拡大と収益性向上を図ってまいります。



代表取締役 江崎 裕之

■ 2024年3月期、2025年3月期および2026年3月期予想



■ 事業（セグメント）別の利益推移

建材事業

売上高

単位：百万円

73,990

75,365

2024年3月期

2025年3月期

セグメント利益

単位：百万円

2,600

3,455

2024年3月期

2025年3月期

【建材事業】

堅調に推移した受注状況の下、ビル新築事業、リニューアル事業などが牽引した結果、

売上高は753億6千5百万円と増収になり、価格改定の浸透などの影響に加えて、営業強化による利益率の良化などにより、セグメント利益は34億5千5百万円と増益になりました。

形材外販事業

売上高

単位：百万円

21,332

23,254

2024年3月期

2025年3月期

セグメント利益

単位：百万円

313

366

2024年3月期

2025年3月期

【形材外販事業】

収益性の高い加工品の販売が拡大したことなどにより、

売上高は232億5千4百万円と増収になり、加工品の販売拡大に加えて、内製化による外注費の低減や設備投資による生産性向上などの結果、セグメント利益は3億6千6百万円と増益になりました。

環境事業

売上高

単位：百万円

2,677

2,744

2024年3月期

2025年3月期

セグメント利益

単位：百万円

151

161

2024年3月期

2025年3月期

【環境事業】

プラント部門の基幹改良工事を中心とした新規プラント工事が好調に推移したことなどにより、

売上高は27億4千4百万円、セグメント利益は1億6千1百万円と増収増益になりました。

物流事業

売上高

単位：百万円

2,978

3,086

2024年3月期

2025年3月期

セグメント利益

単位：百万円

312

402

2024年3月期

2025年3月期

【物流事業】

営業倉庫の活用による取引拡大に加え、傘下に加わった企業の業績が寄与したことなどにより、

売上高は30億8千6百万円と増収になり、適正価格の浸透や配車効率化などのコスト管理の徹底に取り組んだ結果、セグメント利益は4億2百万円と増益になりました。

■ 株主総会決議事項

以下の5つの議案について、2025年6月27日開催の第44期定時株主総会においていずれも承認可決されました。

①増配について

前年度決算を踏まえ、剰余金の配当を1株あたり25円へ増配いたしました。

前年

1株あたり2円(換算値20円)

※2024年10月1日付で株式10株を1株に併合



今年

1株あたり25円

対前年比 **+5円UP!**

②取締役8名選任

取締役には江崎裕之、宮崎恒史、新野伸宏、石井浩、土井和之、澤飯明広（社外取締役）、瀧崎利香（社外取締役）の7氏が再選され、新たに^{みやこし}宮越^{きわむ}極氏（元 警察庁および外務省勤務）が選任され、合計8氏が就任いたしました。

③監査役2名選任

社外監査役に新たに、^{やまざきこういち}山崎浩一（元 金融機関および大栄不動産(株)勤務）、^{おね やまゆうじ}小根山祐二（現 弁護士）の2氏が選任され、就任いたしました。

④監査役補欠者2名選任

常勤監査役の補欠者として吉原和仁氏、社外監査役の補欠者として布施明正氏が再選されました。

⑤当社の取締役等に対する株式報酬等の額および内容決定

当社取締役等（社外取締役を除き、執行役員を含む）に対し、グループの中長期的な業績と企業価値の向上に対するインセンティブを与えるとともに、株主の皆さまとの一層の価値共有を図ることを目的として、株式報酬制度を導入することといたしました。

単元未満株式（1株～99株）の買取制度のご案内

単元未満株式（1～99株）をご所有の場合、市場での売却はできないため、当社に対して、その**単元未満株式の買取りを請求**することができます。お手続きの詳細は、口座を開設されているお取引証券会社等にお問い合わせください。

なお、特別口座に記録されている株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社へお問い合わせください。

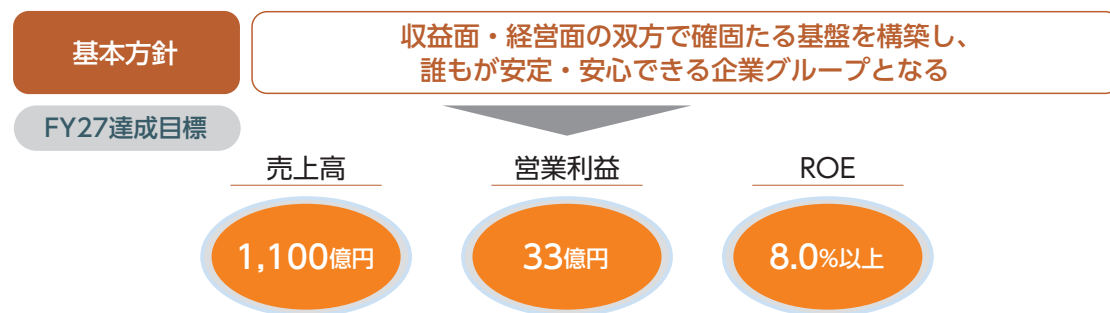
当社では「単元未満株式の買取り」制度をご利用される株主の皆様の利便性を高めるため、同制度のご利用に伴い、当社に支払う手数料を無料とさせていただいております。（お取り扱いの証券会社にて、別途手数料が発生する場合がございます。）

株主名簿管理人
特別口座管理機関
（お問い合わせ先）

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
tel 0120-782-031（フリーダイヤル）

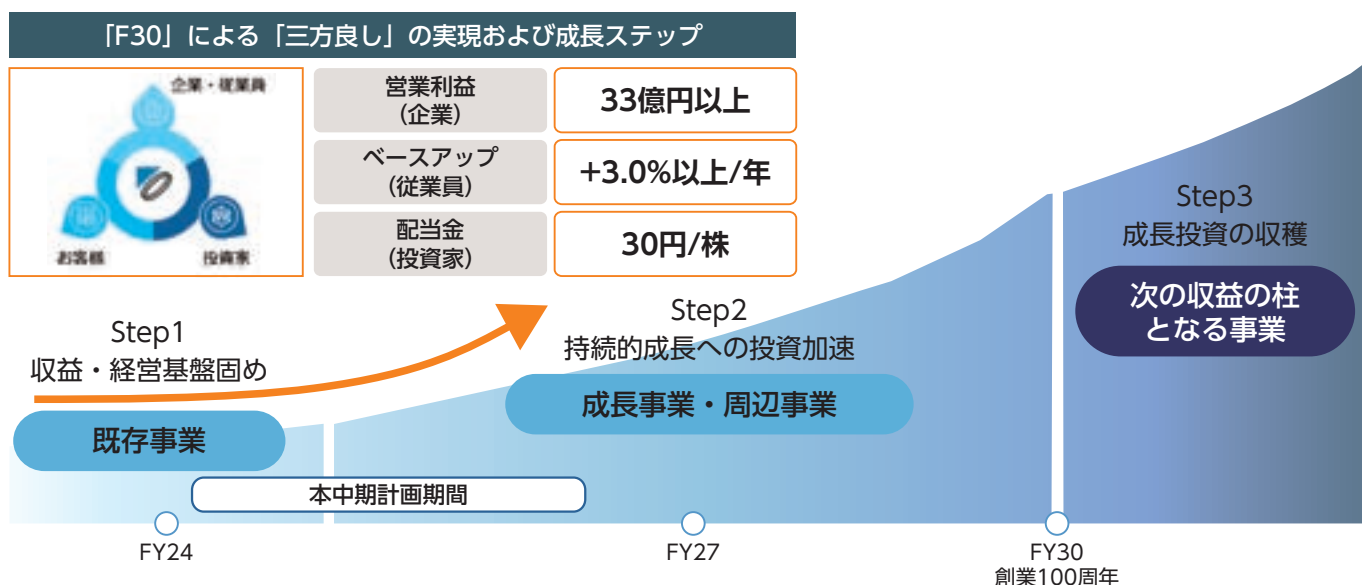
■ 新中期経営計画策定

2025年3月末日をもって中期経営三ヵ年計画（FY22）が終了し2025年4月からは新しい中期経営三ヵ年計画「中期経営計画～2030年度／創造100年に向けた再構築～（FY25 - 27）」を策定いたしました。



■ F30プロジェクト始動

激動の環境下において、次の100年を生き抜くために創業100年に向け、次世代を中心としたF30プロジェクトを始動し、本中期経営計画期間内に3つの30「サンマル」達成を目指しています。



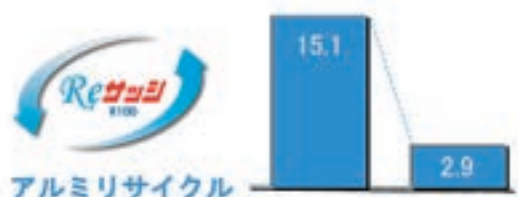
■ リサイクル率100%「Reサッシ R100」 再生可能エネルギー製錬「Reサッシ グリーン」を新投入

「不二サッシグループ サステナビリティビジョン2050」に基づき、不二サッシグループで国内製造販売するサッシとして、アルミリサイクル率を100%に高めた「Reサッシ R100」と、リオティント社グリーン アルミ「RenewAl™」のみで製造する「Reサッシ グリーン」を販売開始いたします。

Reサッシ R100

【低炭素×サーキュラーエコノミー】

アルミ市中回収材およびリターン材のみを使用



原材料～製造段階CO₂排出量 リサイクル未使用品比81%削減
※各数値は自社計算による

Reサッシ グリーン

【低炭素（再エネ）×バージン材】

リオティント社のグリーンアルミ「RenewAl™」のみを使用



製錬所CO₂排出量 世界平均比66%削減



「不二サッシ施工技能者育成プロジェクト」の発足および「不二サッシS・C株式会社」設立のお知らせ

不二サッシ株式会社は、「中期経営計画」(FY25-27)にて、持続可能な施工能力の維持を目的に、若いサッシ施工技能者を雇用・育成する「不二サッシ施工技能者育成プロジェクト」を発足させ、その専担会社として、新たに「不二サッシS・C株式会社」(以下、「FSC」)を設立いたしました。

※「S・C」は「Specialty Construction」の略称です。

本プロジェクトは、これまでサッシ施工技能者の育成には10年必要とされておりましたが、FSCにおいて、既存技能者による集中研修および施工会社でのOJTを効果的・効率的に実施することで、4年程度での技能者の養成を目指しております。

本プロジェクトは、単なる施工技能者不足への対応に止まらず、サッシ施工会社にとっては人件費負担の軽減に繋がり、また、FSCの社員にとっては、給与を得ながら技能の習得が可能となり、将来は、不二サッシ本社への登用、独立起業、サッシ施工会社への就業継続と、多岐に亘る選択を可能としています。

当社では本プロジェクトを通じ、「少子高齢化社会への対応」と「技能の伝承」の両立に、鋭意努めてまいります。



■ 本社社屋建設に関するお知らせ

不二サッシ株式会社は、川崎市に本社社屋の建設に着手いたします。

当社は、2000年、川崎市にあった本社工場閉鎖の際に本社機能の一部を有した自社ビルも閉鎖し、それ以降、賃貸オフィスでの企業活動を継続しておりましたが、当社グループの生産工場として利用してきました溝の口工場跡地の敷地内に、新社屋を建設することとしました。当社東京本部および東京都内に点在する不二サッシグループの関連子会社を移転集約することにより事業の連携強化と業務効率化の推進を図ります。

この新社屋建設にあたっては、若手従業員による新しいオフィスのあり方の提案を取り入れたショールーム併設型社屋をコンセプトとし、人の往来に自由度を持たせた従業員の働きやすいオフィス環境を実現しています。この他、地球環境に配慮した設計も取り入れ、屋上には太陽光発電パネルの設置、新社屋の全面を覆うカーテンウォールのアルミニウム型材には、再生アルミ100%の「Re サッシ R100」を採用するなどCO₂削減に取り組んだオフィスビルとなります。

また、災害時には防災倉庫の一部開放や太陽光発電による電力の分配等地域貢献にも配慮しています。現在、活動拠点となる事務所は、すべて賃貸オフィスのため相当の賃借料が発生していることから、この新社屋への集約により賃借料等の経費の削減を図ります。その削減による効果は、財務の側面から見ても収益改善に繋がる計画です。

【完成予想図】



詳しくは当社ホームページ「ニュースリリース」をご確認ください。

<https://www.fujisash.co.jp/>

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ